

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成26 年度

[操作ボタン]

講義科目名称 : ワークショップ論

授業コード : 55003

英文科目名称 : ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
前期	演習	2単位	
曜日時限			
前期: 金曜5限			
配当学科・学年			
人社1			
担当教員			
村尾 敏彦、中村 英一朗			

授業テーマ	「ワークショップ」とは何か
講義概要	人権をはじめ人生や世の中の様々な問題について必ず『正解』があるわけではないでしょう。また、教え込まれただけの正しい答えは、本当の意味で自分のものになっていないかもしれません。そのような中でこのワークショップ論では①体験する（参加者は相互に学び合う）、②振り返る（自分の気持ちを言語化し、相手の言葉を傾聴する）、③一般化する（体験を分析し概念化する）、④応用する（それを経験知・経験則まで高め、次の行動を考える）を通して、人間の成長につなげます。
到達目標	実際に自分の身体と心を使って、楽しくワークショップの手法を学びながら、自分と社会についての新たな向き合い方を見いだす。
評価方法	授業毎に『振り返りシート』に記入してもらう。学期全体の自分の資料をもとに自己評価のレポートを提出してもらい、教員はそれを基に評価します。
評価基準	体験の振り返りにおいて、言語化し、一般化し、応用することができる。
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考書	必要に応じて紹介する。
履修上の注意	・毎時講義の中で、感じたこと考えたことを「振り返りシート」に自分の言葉で丁寧に記載すること。 ・教室で椅子に座って講義に耳を傾ける形式の授業ではありません。心身を活動して体験する形式の授業なので、人数が多すぎると授業として成立しません。そのため人数制限をします。授業履修できるのは、60名までです。2クラスに分かれて履修します。履修者数が定員を超えると、抽選を行う場合があります。
準備学習	授業での体験のふりかえりを反芻して、次の授業につなげてください。
オフィスアワー等	授業終了時に質問に対応する。
備考・メッセージ	過去の受講生は、この授業で友人をつくることが多かったようです。生き方についてグループで話し合うワークがはいっているためでしょうが。

授業計画			
回数	担当教員	授業内容/到達目標	備考
第1回	村尾敏彦 中村英一朗	ワークショップとは? (7つの側面・話し合うルール作り・聞くトレーニング)	
第2回	中村英一朗 村尾敏彦	ワークショップの基本 (ブレーンストーミング・CARRトレーニング他)	
第3回	中村英一朗 村尾敏彦	ダイヤモンドランキング(仕事に求めるもの)	
第4回	村尾敏彦 中村英一朗	トラストゲーム (他者を感じて)	
第5回	村尾敏彦 中村英一朗	レスポンスゲーム (ひとからひとへ波のように伝わって…)	
第6回	中村英一朗 村尾敏彦	差別・偏見について考える① 『宇宙人に自己紹介』『ちがいのちがい』より ～違いを豊かさに～	
第7回	中村英一朗 村尾敏彦	差別・偏見について考える② 『熱気球』より ～結婚の条件～	
第8回	中村英一朗 村尾敏彦	差別・偏見について考える③ 多数派少数派・青い目茶色い目 [DVD]	
第9回	村尾敏彦 中村英一朗	イメージを共有して (大縄跳び)	

第10回	村尾敏彦 中村英一朗	Back to Back(絵を描くワーク)	
第11回	村尾敏彦 中村英一朗	粘土のワーク (ふたりで作ったら…)	
第12回	中村英一朗 村尾敏彦	貿易ゲーム① 南北問題を体験を通して考える	
第13回	中村英一朗 村尾敏彦	貿易ゲーム② フォトランゲージ	
第14回	中村英一朗 村尾敏彦	オーケション (卒業までにつけたい力)	
第15回	村尾敏彦 中村英一朗	授業のまとめ	

閉じる